

森の風の記憶

諸塚村観光協会「まちむら応縁倶楽部」

諸塚の四季 Vol. 54「がんばれ諸塚の子どもたち」

通巻 第54号

平成22年11月15日発行
やま学校100回達成感謝号

目次

やま学校日記 2
エコツアー第100回

諸塚を食べる 4
お祭り料理大集合！

NEWS 5
やま学校特別講座

イベント情報 6
秋の高千穂郷感動体験

～樫の森の歳時記～



タカキビ
(セツ山 本村)

全村森林公園 諸塚
百彩の森づくり

諸塚村

先日、延岡市立恒富小学校5年生を対象にした「森のエコスクール」が開催されました。その中で、今年も地元の小学校との交流をしました。まず、諸塚小では、地元の5、6年生が参加。発表とあいさつ代わりに名刺交換の1時間ほどの内容でしたが、最後の別れの場面で、子ども達同士の機転でアーチをつくって送り出すなど、うち解ける事ができたようです。

次の日に行ったセツ山小は、全校児童24名です。38名の恒富小5年生には、1年生まで加わっても足りません。でも、決して物怖じせずに給食のお世話や校内案内など、しっかりできました。お互いの演し物では、恒富小のよさこいソーラン節は流石で、私たちも見ていて迫力を感じました。また、セツ山小の1年生から6年生まで全員で演奏する「子ども太鼓」は勇壮で、とても子どもだけの演奏とは思えないほど圧巻でした。

集落の学校の閉鎖理由に「小規模校より大規模校で学んだ方が、子どもには良い」という論理があります。とかく都会の学校の方が教育には条件が良くて、山村の小規模校は遅れていると見られがちですが、決してそんなことはないようです。

今回の事業は、山村が人間の成長を支える教育の場となり、そこでの交流が子どもの生きる力を育むためのものですが、山村ですっと育った子どもたちの生きる力も感じていただけたのではないのでしょうか。都市も山村もお互い良いところがあるのです。たとえば学力の問題は、小中学生は基礎学力の養成時期ですので、少人数学級制が検討されているように、小規模でマンツーマンに近い教え方ができるのはプラスです。

大きいか小さいかは問題ではない。そこで子ども達が活躍する場面がつかれるかどうかではないか。今回の交流は、都市の良さと、田舎の良さを知り、コストや効率など大人の都合の論理をひっくり返すだけの意義がありました。子どもは地域の宝です！（矢）

9～10月の出来事

9月4～5日 エコツアー第99回 カヌー教室・そばまき・森のおやつ

9月14日 森のエコゼミナール（日本森林計画学会）

9月18日 諸塚ぎゃあな祭

10月2～3日 森のエコゼミナール（宮崎大学農学部）

10月16～17日 エコツアー第100回

10月20～22日 森のエコスクール（延岡市立恒富小学校）

やま学校日記

第100回記念エコツアー「諸塚でやま学校しよう！」
平成22年10月16～17日 参加者 41人

記念すべき第100回の「諸塚でやま学校しよう！」宮崎県内はもちろん、福岡・佐賀・大分などから41名のやま学校生が集まりました。初めてご参加の方、おなじみの方、久々にいらっしやった方。皆さんあつての100回達成です。100回記念の今回は特別に5つのコースを同時開催。それでは、各コースの体験の様子をダイジェストレポートでお送りしましょう！



やましぎの囲炉裏を囲み…



いざ！ハチの巣掘りへ！！



獲れました！
巣からハチの子取り出す

1★村の醍醐味を味わう地こんにゃくづくり

こんにゃくづくり班の会場は、森の古民家「やましぎの杜」。世話人の君子さん・カツ子さんとセツ山加工グループの種子さんを講師にお迎えして、こんにゃくそして豆腐を作りました。こんにゃくが芋からできるなんて！とびっくりした人もいたとか…。この他にも周辺を散策して、アケビやムカゴを見つけてとってきたり。これこそ、「やま学校」の楽しみですね。

夕食には、できたての豆腐とこんにゃく、アユの塩焼き、おから炒め、しいたけの網焼き、具たくさんのお汁、むかご焼きなどが並びました。囲炉裏を囲み話の弾む夜でした。

2★隠れた人気ハチの子獲りとハチ料理祭り

オオスズメバチの巣を探して掘り出そう！という、なんとも命知らずのハチの子獲りコース。南川地区の3人のハチ取り名人を講師に迎えて始まりました。

まずは、ハチをおびき寄せているえさ場へ。名人の解説と注意事項をよく聞き、「魔法の水」に寄ってくるハチに目印となるコヨリを結びつけます。初めのうちはみんな怖がっていましたが、一人がすると私も、私もと。ほとんどのやま学校生が目印つけに成功しました。さて次はいよいよ、巣を掘りに！ここはさすがに、全員での体験は無理なので、代表してお一人に防護服を着用して名人に同行してもらいました。若干「よろけバチだった」(名人談)ということで、幸いなことにピギナーでも怪我なくハチの子を獲ることができました。ハチ取り名人の苦勞が少しでも、わかっていただけたでしょうか？貴重なハチの子のお味はいかがだったでしょう。交流会は名人たちのハチ獲り談義と、やま学校生からのマジック披露で盛り上がりしました。

第100回やま学校時間割

- 12:00 全体集合・開校式
昼食
13:00 5つのコースに分かれて、
それぞれの体験
18:00 夕食交流会(各会場にて)

1日目

2日目

- 起床・朝食
お祭り料理作り・周辺散策など
10:30 全体集合(諸塚村中央公民館)
11:30 お祭り料理大集合！昼食会
12:30 語らんね！やま学校特別講座
13:30 閉校式

～やまの風 まちの風～ 9月4～5日で行われた第99回のエコツアーは、子どもから大人まで22名が参加、満員御礼でした。夏の終わりと言えないくらいまだまだ暑い日でした。

やま学校日記 第100回記念「諸塚でやま学校しよう！」

3★秋祭りでむらびとと語らう

飯干公民館の秋祭りにお邪魔しました。やま学校生は、館民手作りの演芸に、「地元の方だけでこんなにいい祭りができるとは」と驚き、喜んでいました。福岡のYさんが飛び入りで舞台上がり、ハーモニカの演奏をしてくれました。

宿泊は、小原井地区の農家民宿にて。交流会は地元の集会所で行いました。地元のお母さんたちと夕食準備。男性陣も、ヤマメ焼きや地鶏焼きに活躍しました。食材もさることながら、竹や容器など、わざわざ他所から買わなくても地元の素材や農家にあるものを使って十分に豪華な料理ができました。

4★とっておきのスピリチュアルスポット巡り

まずは、ゴロウソウ滝へ。案内人は中村寒三郎さんです。川内・仲滝集落からさらに森の中を進むと、参加者は「こんな道をずっと行くんですね…(苦笑)、でもどこに連れて行ってくれるのか楽しみになってきた」と不安の中にも先の見えない楽しみを感じてくれました。遊歩道から15分ほど歩き、ついに滝が見えてくると「わあ～、想像以上の滝だ！」と、驚きとともに良い意味で期待を裏切るスケールに満足のようでした。この後、もう1カ所小原井神社を巡り、宿泊先である七ツ山地区の農家民宿へ向かいました。

5★はちみつ採りと秋の諸塚散策

講師は、50年以上のキャリアを持つという小川格さん。ミツバチとの関わりや、最近ニホンミツバチが減ってきている事などのお話を伺い、ミツバチの巣“うと”へ向かいます。

小川さんがうとを裏返した瞬間！多くのミツバチが四方八方へ！参加者は一時パニックに。その間にも小川さんは淡々とハチの引っ越し作業を進め、うとの上に桶を裏返して被せ、うとの外側からコツコツと石で軽く叩きます。すると不思議なことにミツバチたちは桶へ移動をはじめました。残ったうとの奥から、黄金のハチミツを含んだ巣が取り出されました。

交流会は、桂地区学びの館で盛り上がりました。

やま学校生の声 参加された皆さんの感想です

★農家の方に教わってみんなでお料理を作るのが楽しかったです。家に帰ったら自分でも作って友人に振る舞いたいと思います。

☆久しぶりに参加できました。100回の節目のイベントに参加でき記念になりました。これを機に参加回数を増やしたいと思います。

★これからもどんどん参加していきたいので、200回目目指して続けてください。



飯干の子ども達も出し物！



村で採れたものばかり！



滝のマイナスイオンシャワー



はちみつ採れた！至福の顔

(→つづき) 竹を使って作るバームクーヘン、好評でした。ブルーベリー・はちみつ・紅茶など諸塚オリジナルトッピングをくわえて、味のバラエティも楽しみました。今年のカ →

諸塚を食べる！ 第54回 「諸塚のお祭り料理」

通算100回を記念して行ったエコツアー。

2日目のお昼は各コースのメンバーが作った料理を持ち寄っての昼食会でした。会場に大集合した、むらのお祭り料理の数々を一挙にご紹介します！！



ずらり並んだお祭り料理
その数、なんと25品!!

おいしいメモ

- ・魚寿司に使うさばは、地どれのゆずでめる。
- ・きんぴらには、シイタケの軸をきざんで入れる。特産地ならではのアイデア！
- ・煮しめの具は、しいたけ、ぜんまい、干シタケノコ、里芋、昆布に厚揚げ。ほぼ地元産の食材です！
- ・干シタケノコは圧力なべで炊くと失敗なし。電子炊飯器でもOK。
- ・この時期のかき揚げは、から芋、むかごなど秋の味覚入り！
- ・くりおはぎは、蒸し栗から丁寧に実をとりだし、潰して砂糖と塩で味を調える。栗の実の食感が少し残るぐらいに潰すのがコツ。
- ・おそばには、砂糖・醤油・ショウガなどでよく煮た猪肉をトッピング。やわらかくておいしい！

〈図解：お祭り料理の数々〉



大集合したお祭り料理を
一挙紹介！

(→さらにつづき) 又一教室は、諸塚中学校下の河原を会場に実施しました。カヌーの乗り方のレクチャーの後、交代でチャレンジ。後半には、チーム対抗のリレーも行いまし→

エコツアー通算100回達成記念！

「やま学校」あなたの夢プラン募集

～もしも、私がやま学校の先生だったら・・・～

通算100回記念の「やま学校」参加者に聞きました。もしも、自分が「やま学校」の先生だったら、やってみたいな♪ あんなこと… こんなこと…。さあ、このアイデアの中から、実現するものが出てくるのか!?

山の資源を生かして…

- ・河原でキャンプする
- ・山小屋に泊まる
- ・山登りをしよう。山の中で「数について」話しをする。
- ・秘境探検ツアー
- ・オリエンテーリング 子どもも大人も探検
- ・諸塚 88集落めぐり
- ・日本一の林内路網密度を活かした？
- ・諸塚産直！ツリーハウスづくり

(秘密基地づくりは、子ども時代に多くの人が描いた夢。)

諸塚の森の中に、ツリーハウスができれば…。うん、楽しそう！)

- ・やましぎの杜で方言による演劇公演
- ・ドラム缶風呂をわかして入る
- ・注連縄づくり
- ・川遊び 沢登り
- ・山芋掘り
- ・きのこ狩り
- ・烏わなかけ

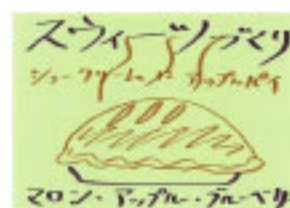
(昔、よくやったと話を聞く「くびちかけ」。

出来ることなら復活させたいのですが…。)



諸塚

88集落
めぐり



あくまき
づくり



親子で楽しむ諸塚村！

- ・夏休み 親子のやま学校2泊3日
- ・親子ふれあいゲーム大会
- しいたけ狩り競争・竹の子掘り競争など

(常連さんの小学生から頂いた意見です。)

なるほど、しいたけ狩りやタケノコ掘りもゲームになるのか。)

山村のおいしい食べ物いろいろ…

- ・マロングラッセづくり
- ・ゆずマーマレードづくり
- ・あくまきづくり
- ・スイーツづくり シュークリーム・アップルパイ (マロン・アップル・ブルーベリー etc)
- ・いろいろ何でも燻製づくり

たくさんのアイデアを
ありがとうございました！

(→) た。この日の昼食は、おなじみどんこ亭の「メンパ弁当」。カヌーで疲れた体に、諸塚の地の食材をたくさん使ったお弁当！自然と食がすすみました。(はみ出しレポート了)

秋の高千穂郷「感動体験」

2010.10.30~12.5 37日間 計25の体験メニュー

宮崎県北部、九州脊梁山脈の一角に位置する、五ヶ瀬町、高千穂町、日之影町、椎葉村、諸塚村。

古くから「高千穂郷」とよばれたこの地域には、いまでも山間地域に暮らす生活文化が残っています。

この地域の、人と出会い本物の暮らしにふれる体験メニューをご紹介します。今回ご用意した、高千穂郷の人たちと過ごす25の体験プログラムは、きっとあなたの心の奥底に響き、やわらかな感動を生むことでしょう。

高千穂あまてらす鉄道
廃線線路と神話を往く
11.16 12.3 開催
～高千穂町～

柚子入り
菜豆腐作り体験
期間中随時開催
～椎葉村～

プログラム
メニュー別

ゆずの収穫と
ゆずこしょう作り
11.21 12.5 実施
～日之影町～

全部で
25の体験
メニュー

森の匠に学ぶ
手作りお弁当箱づくり
期間中随時開催
～諸塚村～

五ヶ瀬の
農村民泊体験
期間中随時開催
～五ヶ瀬町～

主催：フォレストピア広域観光協議会

※フォレストピアとは、フォレスト(森林)とユートピア(理想郷)という2つの言葉を含ませたもので、人々が森林の恵みを上手に利用して、いきいきと心豊かな生活ができる場所、すなわち「森林理想郷」を意味します。

全てのメニューが予約制となっています。

詳細は、下記ホームページをご覧になるか、諸塚村観光協会事務局までお問い合わせ下さい。詳細パンフレットをお送りします

フォレストピア広域観光協議会

<http://www.forestpia-koiki.jp/> ←ご予約はこちらから

●今後の予定・お知らせ

「高千穂郷秋の感動体験」

好評開催中です！！

詳しくは←こちらをご覧ください

11月14日 諸塚駄賃付け歌全国大会

11月21日 諸塚村民文化祭

メインゲスト 大江裕歌謡ショー

ふれあいバザーや特産物の販売

野菜の展示即売など

11月27～28日 第101回エコツアー

●季節の見所・おすすめ情報

紅葉真っ盛り！！の諸塚村

村じまんのモザイク林層がひとときわ
輝く季節になりましたっ！！

山の上から眺める星空もオススメ！
12月はふたご座流星群がやって来ます。
池の窪ログハウスで流星を眺めて
みてはいかがでしょうか？

今年の極大日は、12月14日(火)

【編集後記】

◆先日、友人の結婚式の司会を頼まれて、新潟県長岡市へ行って来ました。おいしい地酒をたくさん頂き、日本海のお魚も…。地の食をいただく、これぞ、旅の醍醐味ですね。(田)

◆日の入りが早く、日の出が遅くなってきましたね。それに応じて、朝の目覚めが遅くなってきた私です。「自然に沿った生活スタイル」と表現すると何だかオシャレですよ。ね。(健)

◆築200年の古民家が台風で被災し、4年前にその古材を福岡県のYさんにご縁がありお譲りしました。長い時間をかけて自宅兼ギャラリーに生まれ変わったそうです。数百年の時間と600kmを越えた空間での人の縁の不思議さを実感！。(矢)

〈発行元〉

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村 大字家代3068

しいたけの館21内 諸塚村観光協会事務局

電話 0982 - 65 - 0178 FAX 0982 - 65 - 0189

(毎週水曜休館)

Mail ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

諸塚村HP <http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp>

諸塚村ブログ <http://blog.morotsuka.jp>

最新情報はツイッターでも発信中！@MorotsuKanko

全村森林公園 諸塚
百影の森づくり

諸塚村